

予 算 要 求 資 料

令和 3 年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：希望が丘子ども医療福祉センター費

事業名 希望が丘子ども医療福祉センター医療機器更新 整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療福祉連携推進課 管理調整係 電話番号：058-272-1111(内 2557)

E-mail：c11230@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 11,635 千円 (前年度予算額：10,100 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	10,100	0	0	0	0	0	0	0	10,100
要求額	11,635	0	0	0	0	0	0	0	11,635
決定額	11,000	0	0	0	0	0	0	0	11,000

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

医療法第6条の12及び医療法施行規則第1条の11の規定に基づき、病院、診療所等の管理者が講ずべき医療機器に係る安全管理のための体制確保のための措置については、「良質な医療を提供する体制の確立を図るための医療法等の一部改正する法律の一部の施行について」により通知された。

通知の「第2の4 医療機器の保守点検・安全使用に関する体制について」の中では、医療機器についての保守点検計画を作成し、保守点検の適切な実施が求められている。

センターでは、通知等を受けて保守点検計画の作成及び一部、外部委託による保守点検の予算要求をしているが、多くの医療機器が存在する中、予算的な制約から、一部の医療機器で保守点検を実施している。

しかし、保守期間を超えた医療機器では、部品等の確保が難しく順次更新が必要であるが、学園時代からの医療機器もあり、一度の更新が難しい。

さらに、医療法第25条第1項の規定に基づく平成29年度の岐阜市保健所の立入検査では、医療機器の計画的な更新が求められた。

上記を踏まえて、平成30年度から医療機器の更新計画を作成し、予算の平準

化を行うため、計画表による医療機器の更新を実施したい。

(2) 事業内容

計画的な医療機器の更新と予算の平準化のためにR2年度から(事業名)医療機器更新整備費として更新計画に基づき整備を行っている。

令和3年度は、耐用年数を超過している以下の機器を購入する。

訓練用ベッド (リハビリ室用)
脳波計 (検査室)
パルスオキシメーター (病棟2機)
多目的モニター (病棟)
ギプスカッター (整形外科用)
生体モニター (手術室用)
インターサージカル (気道確保器) 【外来処置室用】

(3) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	360	訓練用ベッド
〃	6,160	脳波計
〃	132	パルスオキシメーター
〃	55	パルスオキシメーター
〃	225	多目的モニター
〃	253	ギプスカッター
〃	4,400	生体モニター
〃	50	インターサージカル
合計	11,635	

決定額の考え方

所要額を精査し計上します。

4 参考事項

○各種計画での位置づけ

なし

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
耐用年数が経過した医療機器を順次更新し、障がい児等の安心な治療環境を整備する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
	(R)	(R)	(R)	(R)	(R)	%
	(R)	(R)	(R)	(R)	(R)	%

○指標を設定することができない場合の理由

医療機器更新の性格上、指標を設定すること自体がなじまないため。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
リハビリ用トリートメントテーブル、医療用画像管理システムを更新し、医療機器の安全水準を維持した。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、**今後見込まれる成果**
障がい児等の治療等でのトラブルを軽減し生命を守る安全・安心な環境を整備することで、障がい児等の治療環境の確保が図られると同時に、医療従事者の勤労意欲の向上や受け入れ患者の新規確保等、県立医療機関としての更なる信頼性・安全性を発信できる。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	障がい児等に対し安心できる治療環境を確保するため、古くなった医療機器の更新が必要となる。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 医療機器の更新計画による更新を推進する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	